

報道関係者各位

令和4年1月13日

山梨県リニア未来創造局

リニア未来創造・推進課 課長 安藤 明範

電話番号 055-223-1664(内線 1304)

## TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業

### 【株式会社 Smart119】

次世代救急情報システム「Smart119」を活用した  
救急搬送を効率化する実証実験を **R4年1月18日(火)** に実施します！

山梨県が今年度より実施している、最先端技術やサービスを有するスタートアップ企業等に伴走し、山梨県全域を対象にした実証実験を全面的にサポートする「TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」において、採択された8事業者のうちの1つである「株式会社Smart119」は1月18日(火)に実証実験を実施します。

#### 1 事業者

株式会社 Smart119

(<https://smart119.biz/>)

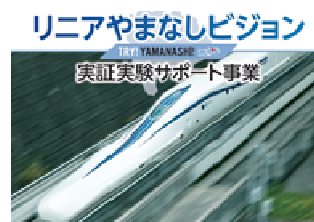
本社：千葉県千葉市

代表：代表取締役 中田孝明

概要：IT/AIを活用した医療現場の課題解決を目的とする千葉大学発医療スタートアップ



Smart 119



#### 2 実証実験の内容

救急現場における課題である救急搬送困難事案を解消するため、県内の消防本部及び医療機関との連携の下、ITを活用した救急医療情報サービス「Smart119」の実証実験を行います。

具体的には、救急隊が架空の救急事案を Smart119 システムのタブレットに入力し、複数の医療機関へワンクリックで一括受入要請を行い、医療機関がその要請に対して、システムで受入可否を返答することで、医療機関の選定・交渉時間の短縮を図るとともに、救急隊の業務負担の軽減や医療機関の利便性を検証します。

##### (1) 実施日

令和4年1月18日(火) 16時～17時

##### (2) 参加者

東山梨消防本部、山梨県立中央病院、山梨大学医学部附属病院、山梨厚生病院  
株式会社 Smart119、山梨県

##### (3) 場所

東山梨消防本部内及び各医療機関

※取材を希望される場合は**東山梨消防本部**【住所：甲州市塩山西広門田385番地 tel.0553-32-5022(消防課)】にお越しく下さい。

※東山梨消防本部において各医療機関の様子を Zoom により中継します。

※実証実験の詳細は、別添リリース資料をご参照ください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、実施を見送る場合もありますのでご了承ください。

さい。

- 「TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」の最新情報は、やまなし未来創造インフォメーションサイトをご確認ください。

[https://www.pref.yamanashi.jp/try\\_yamanashi/support.html](https://www.pref.yamanashi.jp/try_yamanashi/support.html)

未来創造インフォ  



**【報道関係者からのお問い合わせ先】**

山梨県 リニア未来創造局 リニア未来創造・推進課 担当：齊藤

電話：055-223-1363（内線 1324） メール：[saitou-zfm@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:saitou-zfm@pref.yamanashi.lg.jp)

株式会社 Smart119 担当：中村

メール：[press@smart119.biz](mailto:press@smart119.biz)

【タイトル】

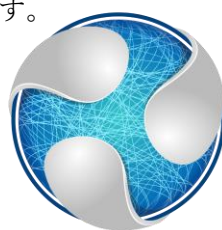
【救急搬入困難を解消】『TRY! YAMANASHI! 実証実験サポート事業』が救急医療情報サービス「Smart119」の実証実験を実施

【サブタイトル】

【リード】

千葉大学発医療スタートアップ企業である株式会社 Smart119（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長/CEO：中田孝明）は、2021年9月に山梨県の『TRY! YAMANASHI! 実証実験サポート事業』に採択され、救急医療サービス「Smart119」（特許第 6875734 号）の実証実験を、2022年1月18日、東山梨消防本部、山梨県立中央病院、山梨厚生病院、山梨大学医学部附属病院において実施することを発表します。

【ボディ】



Smart119

『TRY! YAMANASHI! 実証実験サポート事業』に採択された救急医療情報サービス「Smart119」は、救急搬送困難事案(救急搬入のたらい回し)の解決を目的に、「一括受入要請」「医療機関との情報共有」「スムーズな受入体制の構築」救急隊の現場活動を支援するシステムとして、救急・医療現場から開発され、現在、千葉市で運用しています。

本サポート事業採択後、実証実験対象地域の救急件数、搬送時間、医療機関の数などを調査し、地域特性に合わせたシステムを開発しています。2021年12月20日には、実証実験の初期段階である Level.1 を東山梨消防本部にて実施しました。

救急活動における病院選定・交渉時間を、従来の電話連絡と、Smart119 のタブレット端末を使用した一括要請及び情報共有システムで比較する運用シミュレーションの結果、本システムによって、病院選定・交渉時間を 34.8%にあたる平均 1 分 48 秒短縮する結果となりました。

## 実証実験Level.1 結果報告

実施日時 12月20日(月) 13:30~16:30  
実施場所 東山梨消防本部 3階会議室  
参加者 塩山救急・山梨救急・勝沼救急

TRY! YAMANASHI! 実証実験事業



### I. 病院交渉時間の比較結果

※通常群は保留平均時間を3分と設定し加算している

架空の救急事案を想定し病院交渉時間の比較を行った。通常の電話連絡とSmart119システムを使った一斉受入を行った群で検証した。結果はSmart119システムを使った群が通常群と比較して平均1分48秒短く、病院交渉時間を平均34.8%短縮できた。

	①通常群	②Smart119群	時間差 (①-②)	短縮割合
症例1	4分21秒	4分50秒	+0分29秒	-11.1%
症例2	6分03秒	2分30秒	-3分33秒	58.7%
症例3	4分33秒	1分55秒	-2分42秒	58.5%
症例4	4分45秒	3分26秒	-1分19秒	27.7%
症例5	4分59秒	3分12秒	-1分47秒	35.8%
症例6	4分57秒	3分00秒	-1分57秒	39.4%
平均	4分57秒	3分09秒	-1分48秒	34.8%



### II. 実施救急隊員アンケート結果

TRY! YAMANASHI! 実証実験事業



救急隊員10名を対象に実施したアンケートにおいて、Smart119タブレットを活用した情報伝達の正確性、病院選定・交渉時間の短縮について肯定的な結果が得られた。今後の救急活動においてSmart119タブレットの活用は有効だと思うか？との問いには100%の隊員が有効だと思うと回答した。



(有効回答数 10人)

この結果を基に、最終段階である「Level.2」及び「Level.3」の実証実験を、2022年1月18日に、次のように実施します。

#### ◆実施要領

実施日: 令和4年1月18日(火)16時00分~17時00分

実施場所: 東山梨消防本部、山梨県立中央病院、山梨厚生病院、山梨大学医学部附属病院

参加: 東山梨消防本部、山梨県立中央病院、山梨厚生病院、山梨大学医学部附属病院、山梨県庁、株式会社 Smart119

実施隊: 救急隊1隊(塩山救急)

#### ◆目的

Smart119 システムおよびタブレットを使用し、架空の救急事案を用いて3つの医療機関へ、一括受入要請を行い、病院選定・交渉時間を計測する。情報伝達の効率化、現場滞在時間の短縮を図るとともに、救急隊の業務負担やストレスを軽減する効果及び医療機関の利便性を検証する。

一連の実証実験を通じ、救急医療情報サービス「Smart119」の有効性を立証し、山梨県下における救急搬送困難事案(救急搬入のたらい回し)を解消し、県民が安心できる医療体制構築へ貢献することを目指します。

◆関連プレスリリース

・2021年9月17日

【救急医療のDX化】救急医療情報サービス「Smart119」が山梨県主催『TRY! YAMANASHI!実証実験サポート事業』のライフサイエンス部門に認定

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000054.000056624.html>

・2021年5月25日

救急出動支援システム「Smart119」が特許を取得

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000038.000056624.html>

・2020年7月20日

千葉県消防局が「Smart119」システムを本運用開始

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000006.000056624.html>

◆Smart119 紹介ムービー

次世代 119 通報システム「Smart119」

<https://youtu.be/mebOF-Otv4g>

Smart119 の紹介[日本語字幕]

[https://youtu.be/QOJe9Gaq\\_so](https://youtu.be/QOJe9Gaq_so)

◆株式会社 SMART119:企業紹介ムービー

【Smart119 企業ムービー】「誰もが安心できる未来医療を目指して」

<https://youtu.be/Q-vnHIIBGgE>

<株式会社 Smart119 について>

株式会社 Smart119 は「現役救急医が設立した、千葉大学医学部発スタートアップ」です。

『今の「119」を変える』ため、音声認識と AI を活用した救急医療支援システム「Smart119」を開発・運用。

千葉市において、日本医療研究開発機構 (AMED) の救急医療に関する研究開発事業を実施。

緊急時医師集合要請システム「ACES」、災害時をはじめ、医療事業継続支援システム

「respon:sum」の開発・運用を行なっています。Smart119 は「安心できる未来医療を創造する」を目指します。

# SMART119 inc.

## 【株式会社 Smart119 概要】

会社名: 株式会社 Smart119

住所: 千葉県千葉市中央区中央 2 丁目 5-1 千葉中央ツインビル 2 号館 7 階

設立: 2018 年 5 月

代表者: 中田 孝明

事業内容:

音声認識と AI を活用した救急医療支援システム「Smart119」の開発・運用

緊急時医師集合要請システム「ACES」の開発・運用

医療事業継続支援システム「respon:sum」の開発・運用

URL: <https://smart119.biz>

Twitter: [https://twitter.com/Smart119\\_jp](https://twitter.com/Smart119_jp)

メールアドレス: [press@smart119.biz](mailto:press@smart119.biz) (担当: 中村)

商品サービス

医療・病院政治・官公庁・地方自治体

やまなし未来創造 TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業 テストベッド 公開 実証実験

急性期医療 救急医療 救急救命 救急搬入困難 たらい回し